

令和元年度 盛岡市子ども未来基金助成事業活動報告書

事業名	盛岡市中高生の未来可能性創出事業「君でもできる！～まちづくり～」
事業者名	ドリーム・シード・プロジェクト会
事業の目的 (事業を実施しようと思ったきっかけなど)	これまで当団体は、中高生が自らの活動や社会に向けた提案をプレゼンテーションするイベント「High School DRIVE」を中心に、岩手で活躍する大人（先輩）をゲストに迎えて地元を考える「パイセンcafé」、大人と学生が考えるきっかけをつくるトークセッションなど、中高生が視野を広げることが支援する活動を展開してきました。その中で、中・高校生が現状についての不安を抱えていることや、将来のことを学ぶだけでなく、職業、世界観そのものを知りたい、大人と膝を突き合わせて話をする場が欲しいという欲求を持っていることが分かってきました。 しかし、現実的には、子ども達が地域課題を自ら調べ、学び、解決策を提案してもなかなか実現が難しかったり、誰に相談して良いのかも分からなかったりといった壁にぶつかることで無力感を感じてしまい、生まれ育った地元で誇りと自信を持って生きていく「地域の一員としての自己肯定感」が損なわれている子どもが少なくないと感じています。 子どもたちの思いを大人がしっかりと受け止める場をつくり、将来の夢の実現に向けて大人が伴走をしていく土壌を作っていくことで、子どもたちの中に「岩手・盛岡で力強く生きていきたい」という想いが芽生えていくものと考えます。 そこで本事業では、子どもと大人が車座になって語れるイベントを定期的で開催し、子どもと憧れの大人がつながる場だけではなく、まちづくりにつながる機会を創出します。
事業の実績 (日時・場所、参加者、内容、参加者の様子など)	「まちづくりに関わる取り組み」 1. 「SIM Morioka2040」 7月7日(月)19:00～20:30 パイセン(講師) SIM考案者 参加者：学生 25名 大人 12名 内容：SIM Morioka体験会を高校生向けに行う。まちづくりへの目的整理。 2. 「SIM Morioka2040(中学生への実践)」7月26日(土)11:00～12:30 パイセン(講師) 高校生 参加者：中学生 18名 高校生 10名 大人 10名 内容：SIM Morioka体験会を高校生が中学生向けに行う。 インプットからアウトプットに変えて、まちづくりへの目的整理。 3. 「高齢者の人と生きる未来を考える(認知症サポーター養成講座)」 10月2日(金) 19:00～20:30 パイセン(講師) 認知症2名(地域包括支援センター) 参加者：学生 28名 大人 22名 内容：認知症サポーター養成講座を前半にし、後半は認知症の方と触れ合う時間とした。何を聞いたらいいかわからない、という第一歩を感じさせる時間を創出。 4. 「台湾×日本の高校生」 11月2日(月) 18:30～20:00 パイセン(講師) 台湾の高校生(通訳fu-dao) 参加者：学生 20名(台湾高校生40名) 大人 12名

内容：オンラインで台湾の高校生と国際交流。地元の紹介をしたり、相手の地域を学ぶことによって自分の街について知るきっかけとする。

5. 「シトラスリボンワークショップ」 11月3日(火) 14:00～16:30

パイセン(講師) シトラスリボン岩手 魚山さん

参加者：学生 20名 大人 20名

内容：岩手にもコロナ患者が出た場合、差別しない活動であるシトラスリボンを学生向けにワークショップを通じてまちづくりについて考えてもらうきっかけとした。

6. 「高齢者の人と生きる未来を考える」 11月6日(金) 19:00～20:30

パイセン(講師) 高齢者(+地域包括支援センター)

参加者：学生 28名 大人 22名

内容：認知症サポーター養成講座を前半にし、後半は認知症の方と触れ合う時間とした。何を聞いたらいいかわからない、という第一歩を感じさせる時間を創出。

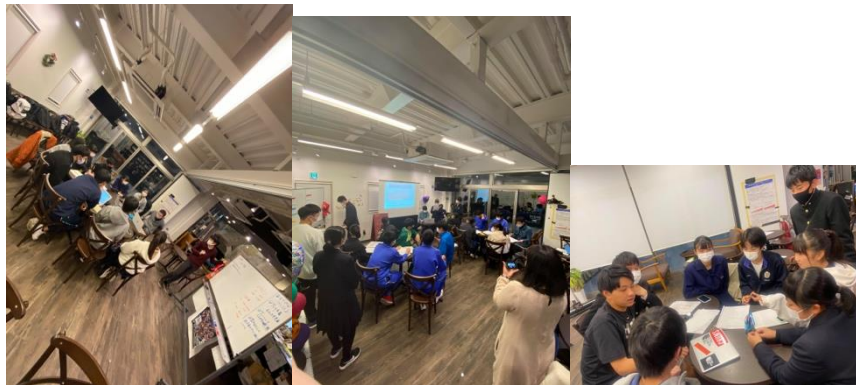
7. 「高校生からの挑戦状(SIMMorioka2040)」 12月2日(水) 19:00～20:30

パイセン(講師) まちづくりに関心のある大人

参加者：学生 12名 大人 25名

内容：SIMMorioka2040を高校生が大人に向けて実践。学びの場を提供するとともに今後の活動に向けたきっかけとする。

※場所はすべてSoRacafe(北飯岡1-2-10)



	
その他 (課題、今後の 予定など)	1月に高校生が「マイプロアワード」に参加し、実践してきた内容を発表してくる。今後の体験会も含めて社会実験した内容をもとにどのようにアクションにつなげていくのかしっかりと伴奏していきたい。